

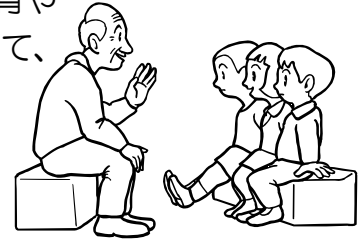
このガイドラインの見方

1 まず、初めにここからお読みください。

(1) 学校評価は、学校改善のためのコミュニケーションツール

嬉野市の学校評価は、学校応援団（保護者、地域住民）から声援をいただきながら、みんなに元気を与え、子どもたちにとって楽しい学校に改善するための手段です。

学校評価は、特別に新しいことではなく、今までも学校教育や行事の反省等で日頃から評価して、改善してきた作業について、意図的に、計画的に行うものです。



(2) 学校自己評価と学校関係者評価

「学校自己評価」が主であり、あくまでも「学校関係者評価」はその補完的なものという考え方です。つまり、学校自己評価に、客観性、透明性を与えると意味合いでの学校関係者評価と考えます。

(3) 学校評価の進め方

時系列で嬉野市の学校評価の進め方を示しています。本市では、学校改善の時間確保ために、今まで年度末に行っていた学校自己評価を早めました。12月外部アンケート、1月学校自己評価、2月学校改善策というサイクルで進めています。

2 言葉・用語の説明

- 「**学校評価**」： 教育活動全体、教育環境等を評価して、学校改善を進めることです。当該学校の教職員が行う「学校自己評価」と、学校外部の方が行う「外部評価」（学校関係者評価、第三者評価）があります。
- 「**学校自己評価**」：教職員が、外部アンケート（児童生徒、保護者等）も一つの資料として、学校の評価項目にしたがって、達成状況について行う評価です。
- 「**外部アンケート**」：外部評価ではありません。教職員が学校自己評価を行ううえで、資料として活用するための児童生徒や保護者等のアンケートを指します。
- 「**外部評価**」： 学校外部の方が行う「学校関係者評価」と「第三者評価」を指します。学校自己評価等について、適切かどうかを評価します。
- 「**学校関係者評価**」：教職員が実施した学校自己評価結果について、学校関係者の方々に適切であるかを評価していただきます。客観的な評価を期待しています。
- 「**第三者評価**」： 学校に直接関係のない学識経験者等の専門家が学校自己評価、学校関係者評価結果等を資料として、学校運営等について評価します。
- 「**PDCAサイクル**」：P (PLAN) 計画、D (DO) 実践、C (CHECK) 評価、A (ACTION) 改善のサイクルです。本紙の「もくじ」、及び12ページでも示しています。